

**第 10 期前半年度(2022 年度)**

**予算 (案)**

# 第10期前半年度（2022年度）予算（案）

## 1. 第10期前半年度（2022年度）予算策定の考え方

### 1) 予算主義の考え方

- ・ 労働組合の会計は、利益を追求する企業会計（決算・結果主義）とは異なり、支出を抑えて剰余金を増やすことを目的にしています。
- ・ 限られた組合費収入を効率的に活用しながら活動計画にもとづいた予算を策定し、その着実な執行をつうじて組合員に対する最大の効果をあげることを目的にしています。これを予算主義と呼んでいます。
- ・ 第10期前半年度（2022年度）の会計予算も、これまでと同様に予算主義の会計を前提とし、本支部の運動方針を完遂するために必要かつ適切な予算策定をおこないます。

### 2) 第10期前半年度（2022年度）予算の考え方

- ・ 第10期前半年度（2022年度）については、一部事業会社の賞与が回復基調にあるものにとらえる一方で、組合員数の逡減により本給・賞与ともに組合費収入の減少傾向は続くことが予想されます。
- ・ また、ここ数年は新型コロナの影響により、これまでリアルを前提としていた活動の一部に制限をかけたり、リアル・リモートとのハイブリッドを推進したりと、活動のあり方を見直してきました。
- ・ そのなかでの経験を活かし、本支部それぞれの活動については、引き続きリモート開催で効率化をはかる活動と、効果性を鑑みてあらためてリアルに回帰する活動、また活動自体を再開するものなど、メリハリをつけた活動推進を前提に予算策定をおこないます。
- ・ 以上のことから、収入が減少するとともに、リアルの活動推進による支出の増加が見込まれるため第10期前半年度（2022年度）の組合財政は、単年度でマイナス収支となることを想定しています。
- ・ 限られた貴重な組合費収入のなかでも、第10期本部運動方針のテーマにもある、VOICEサイクルの循環による組織力向上の実現にむけて、最大の効果をあげるための予算策定と組合費執行をおこないます。

## 2. 第10期前半年度（2022年度）予算の具体的な内容

### 1) 一般会計について

#### 【収入の部】

- ・ 施設利用料収入や受取配当金が増えるとともに、一部事業会社の賞与水準は回復基調であるにとらえますが、依然として組合員数の減少により組合費収入は減少が予想されることから、収入全体では第9期予算に対してマイナス2,145万円で設定します。

項目・前年予算差	予算策定のポイント
組合費収入 (-3,700万円)	一部事業会社の賞与水準は回復基調であるものの、採用抑制などの影響により組合員数がさらに減少することが想定されることから、組合費収入は第9期予算からの減額を見込み予算設定
施設利用料収入 (+1,300万円)	2021年度以降ハワイの現地利用が回復しており、今後も堅調に推移することを見込み、第9期予算から増額で予算設定
受取利息・配当金 (+260万円)	第9期中に三越伊勢丹HDS株を共済会から譲渡したことにくわえ増配が想定される一方で、同期中に保有していた金融資産を一部組み替えたことから、受取利息・受取配当金を合算すると、第9期予算からは微増で予算設定

## 【 支出の部 】

### ① 事業費

- ・ 上述のとおり、本支部それぞれの活動において効果性を鑑みてあらためてリアルに回帰したり、また活動自体を再開したりすることにより、交通費・旅費、会議費などの増加が想定されるため、事業費全体では第9期予算に対してプラス1,795万円で設定します。

項目・前年予算差	予算策定のポイント
本部活動費 (-610万円)	第9期におこなったHP改修はその後のメンテナンスコストのみとなることや、経営対策費や上部団体活動参加費は実態にあわせて減額。一方で、社会貢献活動費や首都圏活動委員会活動費の増額を見込み予算設定
本部教育費 (-150万円)	自己啓発支援制度の利用者拡大や、上部団体や外部への教育派遣の拡大見込むとともに、第9期と同様に年代別教育を実施する見込みであることから、総額では第9期予算から微減で設定
本部会議交通費 (+2,200万円)	本部執行委員会はリモート開催を継続する一方で、定期本部大会や本部評議員会をリアル開催とすることや、本部機関会議、内部会議・ミーティングの地域開催、その他地域支部訪問の機会増を想定し第9期予算から増額での予算設定
支部活動費 (+325万円)	各支部の第9期の実績と反省および第10期運動方針などを総合的に考慮し、支部ごとに設定した予算の積み上げにて設定。主には、支部活動においても地域事業所訪問やリアル会議の開催が増えることによる、交通費・旅費の増額を想定

### ② 事務費

- ・ 役員・専従者数の大きな変動は想定しない一方で、一部事務所環境整備にぐわえ備品の追加購入や継続的な消耗品の購入などを見込み、事務費全体では第9期予算に対してマイナス1,780万円で設定します。

項目・前年予算差	予算策定のポイント
人件費 (-855万円)	第9期から（書記スタッフを含む）役員・専従者数はほぼ横ばいであるにとらえたうえ、第9期実勢を鑑みて予算設定
物件費 (-925万円)	一部地域事務所の環境整備を想定していることや、デジタルサイネージの購入、首都圏事務所設備の見直しを想定する一方、システムインフラ関連の整備は第9期中に一区切りできた（今後はメンテナンスコストが発生）ことから、第9期実績を鑑みて予算設定

### ③ その他の支出

項目・前年予算差	予算策定のポイント
リゾート施設関連費 (+700万円)	第9期実績水準で予算設定
上部団体費 (-510万円)	組合員数の減少により、第9期予算より減額して予算設定
共済会費 (-650万円)	組合員数の逡減を見込み、第9期予算より減額して予算設定
特別会計繰入金 (-300万円)	第10期前半年度（2022年度）は、愛の募金特別会計への繰り入れをおこなわないため、予算設定せず
独立組織関連費 (-1億2,000万円)	第10期前半年度（2022年度）は、独立支援金などの執行を想定していないため、予算設定せず

## 2) 特別会計について

### ① 闘争特別会計

- ・ 第9期中に金融資産を追加購入したため、第9期から収入（受取利息）の増額を見込んだ予算設定とします。
- ・ 第10期前半年度（2022年度）に、さらなる資産運用の見直しをはかるかは未定です。

### ② 愛の募金特別会計

- ・ 収入については、辻立ちによる募金実施も増え募金収入も回復傾向にあることから、経常収入は第9期実績水準で予算設定します。
- ・ また、募金収入が回復傾向にあるため、第10期前半年度（2022年度）では一般会計からの繰り入れはおこないません。
- ・ 事業費については、本部支援団体および上部団体（UAゼンセン）への寄付や、国内外の自然災害発生時の義援金・救済金窓口への寄付、被災した従業員への災害見舞金などを想定し、第9期の実績をもとに予算設定します。

## 3. 第10期前半年度（2022年度）予算の収支について

- ・ 第10期前半年度（2022年度）の組合会計全体の収支予算は、原則募金収入により運営される愛の募金特別会計を除き、**収入は約7億2,285万円、支出は約8億5,456万円**とします。

### 【 組合財政 単年度収支額の推移 】

#### ① 一般会計+闘争特別会計

単位：千円

	第8期（2020年度）		第9期（2021年度）		第10期前半年度（2022年度）		
	予算	実績	予算	実績	予算	前年度予算比	前年度実績比
収入	792,150	824,842	740,470	856,767	722,850	97.6%	84.4%
支出	935,510	878,580	982,010	966,945	854,560	87.0%	88.4%
収支	-143,360	-53,738	-241,540	-110,178	-131,710	-	-

※ 金額は愛の募金特別会計および各会計の繰越金、繰入金、予備費を除いた合計額

#### ② 愛の募金特別会計

単位：千円

	第8期（2020年度）		第9期（2021年度）		第10期前半年度（2022年度）		
	予算	実績	予算	実績	予算	前年度予算比	前年度実績比
収入	1,010	866	3,810	4,371	1,510	39.6%	34.5%
支出	5,400	4,737	3,350	2,824	3,250	97.0%	115.1%
収支	-4,390	-3,871	460	1,546	-1,740	-	-

※ 金額は繰越金、繰入金、予備費を除いた合計額

## 4. 今後の組合財政（財政中期計画）について

- ・ 組合では2018年度に「財政プロジェクト」を立ち上げ、中長期的な収支均衡・財政健全化に向けた計画を策定し、2019年度は「事業のあり方・財政健全化プロジェクト」にてさらに具体的な対応策を検討してきました。
- ・ 2021年度は上記の対応策を進める一方で、新型コロナの影響により事業費を中心とした支出が大幅に減額となっているため、2021年度の特許与件(有価証券売却損、独立支援金の支出など)を除くと、実質的には収支均衡がはかれる状況になっています。(実質約7,600万円の黒字)
- ・ 今後は新型コロナによる影響や、効率性という観点からも活動のあり方(リアルとリモートのバランス)に関する検討をおこない、新型コロナによる影響が収束後早期に収支均衡がなされるよう着実に財政健全化を推し進めていきます。

【 IMGU財政健全化計画（中期計画・2018年度策定）の抜粋 】

- ① 基本的な考え方
  - ・ 収支マイナスの状況が今後も続く場合、「資産縮小に伴う運用収益の減少によるさらなる収支の悪化」「闘争資金減少など労働組合としての影響力低下」「長期的な組織の存続」等に影響が懸念されるため、財政健全化に向けた取り組みは必須である
  - ・ ただし、短期的な収支健全に向けた取り組みの推進は、組合員への影響や組織力低下に繋がる可能性もあることから、4～5年程度の中期的なスパンでの取り組みとしていく
  - ・ 計画を策定するにあたっては、組織発足後の予算・実績推移や今後の収支の見込みなどを踏まえ、以下を基本的な考え方として財政健全化に向けた計画を策定する
- ② 計画達成までの期間
  - ・ 第10期（2022年度）の実績ベースで収支均衡を目指す中期的な計画とする
- ③ 目指す収支の方向性
  - ・ 予算策定時の収支が▲5,000万円程度（2018年度予算+約7,000万円）を目指す
  - ・ 今後の収支見込みを鑑みると、収入は減少見込み、支出は組織状況等によるものの現状の水準程度はかかる見込みであることから、極力現行水準程度に収入を維持すること、支出を着実に7,000万円程度削減するための様々な打ち手を検討する



現在の環境に合わせて再度財政健全化計画（中期計画）の見直しをはかっていく

2022年度三越伊勢丹グループ労働組合 一般会計

収支予算表 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(収入の部)

款 項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
1. 経常収入		717,800,000	94.6%	97.1%	
1. 組合費		623,000,000	92.5%	94.4%	
	1. 組合員拠出金 (本給)	510,000,000	91.4%	91.1%	前年度実績×約90% (採用抑制等による組合員数減加味分) で設定
	2. 組合員拠出金 (賞与)	113,000,000	98.0%	113.0%	2021年度決算値×約98% (組合員数減加味分)
2. 施設利用料収入		20,000,000	95.3%	285.7%	
	1. メンバー利用料	0	-	-	前年度同様、コロナの影響を考慮し予算化せず
	2. ハワイ現地利用料	20,000,000	95.3%	285.7%	前年度実績で設定
3. 受取利息		30,000,000	105.3%	77.9%	
	1. 受取利息	20,000,000	116.0%	66.7%	前期に実施している金融商品の入替を踏まえて設定 (前期実績+2,800千円)
	2. 受取利息 (外貨)	10,000,000	88.8%	117.6%	金融商品の追加購入は想定していないことから、前年度実績で設定
4. 受取配当金		44,800,000	124.6%	132.9%	
	1. H D S 株受取配当金	44,000,000	125.3%	133.3%	2021年度期末決算時保有3,694,669株×12円
	2. その他受取配当金	800,000	97.3%	114.3%	労金配当金前年度実績約80万円で設定
2. 臨時収入		1,050,000	1.1%	95.5%	
	1. 為替差益	0	0.0%	-	予算化せず
	1. 為替差益	0	0.0%	-	
	2. 有価証券売却益	0	-	-	2021年度は時価が簿価を上回る有価証券の売却は想定せず
	1. 有価証券売却益	0	-	-	
	3. その他雑収入	1,050,000	31.3%	95.5%	
	1. LINEスタンプ売上収入	50,000	-	50.0%	前年実績を考慮し設定
	2. その他雑収入	1,000,000	29.8%	100.0%	2021年度・2020年度特殊与件を考慮したうえで、2019年実績を考慮し設定
3. 特別会計繰入金収入		0	-	-	
	1. 闘争特別会計繰入金収入	0	-	-	2021年度は繰入予定なし
	1. 闘争特別会計繰入金収入	0	-	-	
	2. 愛の募金特別会計繰入金収入	0	-	-	2021年度は繰入予定なし
	1. 愛の募金特別会計繰入金収入	0	-	-	
4. ｼﾞｮｲﾝﾄ施設修繕積立預金戻入収入		0	-	-	
	1. ｼﾞｮｲﾝﾄ施設修繕積立預金戻入収入	0	-	-	2021年度は繰入予定なし
	1. ｼﾞｮｲﾝﾄ施設修繕積立預金戻入収入	0	-	-	
5. 前年度繰越金		4,111,033,819	97.3%	97.3%	
	1. 前年度繰越金	4,111,033,819	97.3%	97.3%	前年度剰余金と同額
	1. 前年度繰越金	4,111,033,819	97.3%	97.3%	
合 計		4,829,883,819	95.1%	97.3%	

## (支出の部)

款 項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比
1.事業費		142,250,000	166.8%	114.4%
1.本部活動費		21,600,000	123.2%	78.0%
1.1.書記局費		7,000,000	976.0%	100.0%
2.労働福祉対策費		500,000	3030.3%	166.7%
3.組織対策費		0	-	0.0%
4.経営対策費		100,000	-	33.3%
5.広報費		7,500,000	56.2%	50.0%
6.選挙管理費		50,000	-	100.0%
7.レクリエーション費		0	-	-
8.社会貢献活動費		2,250,000	251.7%	225.0%
9.ダイバーシティ推進費		2,650,000	175.1%	106.0%
10.IMキッズ活動運営費		200,000	251.3%	100.0%
11.活動委員会活動費		1,300,000	137.0%	130.0%
12.上部団体活動参加費		50,000	617.3%	16.7%
2.本部教育費		35,500,000	113.4%	95.9%
1.組合員教育費		10,000,000	110.8%	76.9%
	組合員教育費	10,000,000	110.8%	76.9%
	国内セミナー費	0	-	-
	海外セミナー費	0	-	-
2.能力開発費		21,000,000	105.2%	107.7%
	海外語学支援費	1,000,000	101.7%	66.7%
	自己啓発支援費	20,000,000	105.4%	111.1%
3.役員教育費		4,500,000	194.8%	100.0%
	一般役員教育費	1,500,000	-	150.0%
	役員教育派遣費	2,500,000	123.9%	83.3%
	上部団体役員教育費	500,000	171.1%	100.0%
3.本部渉外費		1,600,000	150.5%	123.1%
1.応接交際費		500,000	1349.9%	100.0%
	IMGU応接・交際費	50,000	-	100.0%
	上部団体応接・交際費	300,000	2142.9%	100.0%
	その他応接・交際費	150,000	651.0%	100.0%
2.会費		1,100,000	107.2%	137.5%
4.本部会議交通費		27,000,000	355.8%	540.0%
1.本部会議費		3,000,000	687.4%	300.0%
	IMGU会議費	3,000,000	687.4%	300.0%
2.本部会議交通費・旅費		24,000,000	335.5%	600.0%
	IMGU会議交通費・旅費	20,000,000	370.3%	666.7%
	上部団体会議交通費・旅費	1,000,000	195.0%	200.0%
	その他交通費・旅費	3,000,000	242.0%	600.0%
5.支部活動費		56,550,000	203.5%	106.1%
1.三越伊勢丹支部活動費		8,750,000	176.5%	75.1%
2.北海道統括支部活動費		8,800,000	167.9%	108.6%
3.仙台三越支部活動費		2,450,000	200.8%	111.4%
4.新潟三越伊勢丹支部活動費		4,250,000	137.6%	141.7%
5.静岡伊勢丹支部活動費		1,650,000	679.2%	173.7%
6.名古屋三越支部活動費		4,600,000	110.4%	86.0%
7.広島三越支部活動費		1,400,000	217.3%	127.3%
8.高松三越支部活動費		2,500,000	250.9%	108.7%
9.松山三越支部活動費		1,100,000	1520.9%	110.0%
10.岩田屋三越支部活動費		4,900,000	239.2%	125.6%
11.エムアイフーズスタイル支部活動費		5,750,000	175.7%	102.7%
12.エムアイカード支部活動費		3,250,000	1090.6%	130.0%
13.三越伊勢丹ビジネス・サポート支部活動費		1,750,000	895.3%	120.7%
14.三越伊勢丹プロバティ・デザイン支部活動費		550,000	903.1%	183.3%
15.三越伊勢丹システム・ソリューションズ支部活動費		1,450,000	479.9%	120.8%
16.三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ支部活動費		1,600,000	322.3%	100.0%
17.関連グループ支部 I 活動費		700,000	203.9%	107.7%
18.関連グループ支部 II 活動費		450,000	711.2%	450.0%
19.三越伊勢丹ニコウトラベル支部活動費		650,000	850.9%	185.7%

22年度予算 解説
前年実績およびIMGU10年史・伊勢丹年史（それぞれ300万円）を考慮し設定
時間管理ポスター（50万円）
2022年度は大きな組織化は想定していないことから、予算化せず
前年度実績を考慮し設定
HP・LINEランニングコスト（400万円）、本部広報誌（250万円）を考慮して設定
毎年選挙のため今後ほぼ固定値
21年度同様予算化せず（活動委員会・上部団体活動参加費へ）
東北復興支援活動（170万円）他を考慮して設定
育児・介護サポート百科の更新費用（140万円）、介護個別相談会（60万円）、その他調査研究・情報発信（50万円）他
前年度予算と同額で設定
前年度実績にくわえ講演会の選択肢拡大を考慮し設定
前年度実績を考慮し設定
年代別教育実施（※実施済み首都圏30歳教育約130万円含む）、ライブランカリキュラム（70万円）
2022年度は実施予定なし
2022年度は実施予定なし
前年度実績を考慮し設定
利用者拡大を想定し設定
ユニオンスクール講師費用、ユニオンセミナーの開催を想定し設定
外部教育派遣の拡大を想定し設定
派遣者の拡大を想定し設定
前年度予算と同額で設定
上部団体会議に付随する懇親会の機会増を想定し前年度予算と同額で設定
前年度予算と同額で設定
前年度実績を考慮し設定
定期本部大会会場飲食代（160万円）、本部評議員会のリアル開催を想定、ZXYの利用料5万円を考慮し設定
本部機関会議、委員長・書記長合宿、担当ミーティング、内部会議（政策検討会議、書記局合宿）の地域開催などにかかる旅費・宿泊費
上部団体教育・上部団体会議増を考慮し設定
地域事務所訪問の機会増などを考慮し設定
各支部運動方針に則して設定

款 項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
2.事務費		491,800,000	106.6%	96.5%	
1.人件費		438,100,000	104.9%	98.1%	
1.給料		270,000,000	104.7%	100.0%	2022年7月分×12ヵ月をベースに、前年度実績を考慮し設定
2.時間外・深夜業手当		50,000	-	100.0%	選挙管理委員が支給対象 選挙時の過去実績にもとづき設定
3.休日手当		4,200,000	104.1%	93.3%	2022年7月分×12ヵ月をベースに、前年度実績を考慮し設定
4.職務・行動手当		72,000,000	101.3%	97.3%	2022年7月分×12ヵ月をベースに、前年度実績、本支部役員増を考慮し設定
5.賞与		45,000,000	114.8%	95.7%	専従役員、専従スタッフの賞与 前年度実績、賞与増を考慮し設定
6.共済会費		150,000	137.6%	150.0%	組合直雇用者の共済会拠出金 前年度実績を考慮し設定
7.社会保険料		45,000,000	103.8%	92.8%	専従役員、専従スタッフの社会保険料 前年度実績を考慮し設定
8.福利厚生費		1,700,000	88.1%	68.0%	役員の損害保険（執行委員の組合活動中の事故への対応）前年度実績を考慮し設定 ※確定拠出年金関連費は新費目へ
9.確定拠出年金関連費		300,000	-	-	2022年度より新たに設定 組合直雇用者の確定拠出年金拠出金
2.物件費		53,700,000	123.0%	85.3%	
1.通信費		10,000,000	102.0%	95.2%	前年度実績を考慮し設定
2.消耗品費		2,000,000	121.6%	66.7%	本支部組合事務所の備品・用度品 前年度実績を考慮し設定
3.リース・レンタル料		5,200,000	103.5%	61.2%	本支部組合事務所の複合機、PCなどのリース料 前年度実績を考慮し設定
4.建物及び建物付属設備購入費		1,500,000	-	150.0%	本支部組合事務所の一部改修を想定し設定（※静岡事務所リモテル含む）
5.什器備品購入費		3,000,000	233.8%	150.0%	前年度実績に比べ、各支部デジタルサイネージ購入
6.水道光熱費		250,000	105.8%	83.3%	岩田屋三越支部事務所電気代 前年度実績で設定
7.印刷費		5,500,000	102.5%	110.0%	本支部事務所におけるコピー代 引き続きペーパーレス推進、動画活用により前年度実績で設定
8.図書新聞費		2,000,000	111.7%	80.0%	各事務所定期購読の新聞・専門誌など 前年度実績で設定
9.ネットワークシステム関連費		15,000,000	165.0%	75.0%	AWSサーバー、ネットバンキング、会計・精算システムなどの利用料や保守費、ITエキスパートサービス利用料を考慮し設定
10.修繕・宮繕費		800,000	148.1%	400.0%	前年度実績に比べ、本部大型ディスプレイ設置費用を考慮し設定
11.契約料		6,600,000	89.6%	82.5%	監査（330万円）、弁護士（35万円）、税理士（20万円）、投資顧問（270万円）、法人カード年会費（合計約5万円）
12.支払手数料		50,000	185.7%	50.0%	MIカードへの手数料（石巻ボランティア、活動委員会活動参加者入金時など）他 前年度実績を考慮し設定
13.振込手数料		1,500,000	117.3%	100.0%	BIZ振込手数料 前年度実績で設定
14.租税公課		250,000	120.9%	83.3%	法人住民税（6月7万円）、固定資産税 他 前年度実績で設定
15.雑費		50,000	-	100.0%	上記項目に属さない費用を計上
3.リゾート施設関連費		22,100,000	104.1%	146.4%	
1.国内リゾート施設関連費		100,000	137.0%	100.0%	
1.国内施設関連費		100,000	137.0%	100.0%	由布院がが管理費、固定資産税 前年度実績で設定
2.海外リゾート施設関連費		22,000,000	104.0%	146.7%	
1.海外施設関連費		22,000,000	104.0%	146.7%	ハワイコンドミニアム維持管理費（税金、内装修理、家具購入、現地M契約料）他 前年度実績ベースで設定
4.上部団体費		86,400,000	94.7%	94.4%	
1. U A センセン拠出金		86,400,000	94.7%	94.4%	
1. U A センセン拠出金		86,400,000	94.7%	94.4%	720万円×12ヵ月で設定
5.共済会費		112,000,000	96.2%	94.5%	
1.共済会拠出金		48,500,000	95.6%	94.2%	
1.共済会拠出金		48,500,000	95.6%	94.2%	2022年7月分×12ヵ月で設定（若干の要員減を考慮）
2.医療共済補助金		63,500,000	96.6%	94.8%	
1.医療共済補助金		63,500,000	96.6%	94.8%	2022年7月分×12ヵ月で設定（若干の要員減を考慮）
6.特別会計繰入金		0	0.0%	0.0%	
1.闘争特別会計繰入金		0	-	-	予算化せず
1.闘争特別会計繰入金		0	-	-	
2.愛の募金特別会計繰入金		0	0.0%	0.0%	予算化せず
1.愛の募金特別会計繰入金		0	0.0%	0.0%	
7.独立組織関連費		0	0.0%	0.0%	
1.独立準備関連費		0	-	-	予算化せず
1.独立準備関連費		0	-	-	
2.独立支援金		0	0.0%	0.0%	予算化せず
2.独立支援金		0	0.0%	0.0%	
8.雑損失		0	0.0%	-	
1.為替差損		0	-	-	予算化せず
1.為替差損		0	-	-	
2.有価証券売却損		0	0.0%	-	予算化せず
1.有価証券売却損		0	0.0%	-	
3.その他雑損失		0	-	-	予算化せず
1.その他雑損失		0	-	-	
9.予備費		3,975,333,819	96.7%	99.8%	
1.予備費		3,975,333,819	96.7%	99.8%	
1.予備費		3,975,333,819	96.7%	99.8%	
10.剰余金（次年度繰越金）		0	-	-	
1.剰余金（次年度繰越金）		0	-	-	
1.剰余金（次年度繰越金）		0	-	-	
合 計		4,829,883,819	95.1%	97.3%	

## 2022年度三越伊勢丹グループ労働組合 闘争特別会計

### 収支予算表（2022年7月1日～2023年6月30日）

#### （収入の部）

款	項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
1.	経常収入		4,000,000	196.7%	2352.9%	
	1.	受取利息	4,000,000	196.7%	2352.9%	前年度実績を考慮し設定
		1.受取利息	4,000,000	196.7%	2352.9%	
	2.	受取配当金	0	-	-	
		1.受取配当金	0	-	-	
2.	繰入金収入		0	-	-	
	1.	一般会計繰入金収入	0	-	-	
		1.一般会計繰入金収入	0	-	-	
3.	臨時収入		0	-	-	
	1.	雑収入	0	-	-	
		1.雑収入	0	-	-	
4.	前年度繰越金		722,920,977	100.3%	100.3%	
	1.	前年度繰越金	722,920,977	100.3%	100.3%	
		1.前年度繰越金	722,920,977	100.3%	100.3%	
	合 計		726,920,977	100.6%	100.8%	

#### （支出の部）

款	項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
1.	事業費		10,000	1515.2%	100%	
	1.	事業費	0	-	-	
		1.事業費	0	-	-	
	1.	雑費	10,000	1515.2%	100%	
		1.雑費	10,000	1515.2%	100%	
2.	繰入金		0	-	-	
	1.	一般会計繰入金	0	-	-	
		1.一般会計繰入金	0	-	-	
3.	予備費		726,910,977	-	101%	
	1.	予備費	726,910,977	-	101%	
		1.予備費	726,910,977	-	101%	
4.	剰余金（次年度繰越金）		0	0.0%	-	
	1.	剰余金（次年度繰越金）	0	0.0%	-	
		1.剰余金（次年度繰越金）	0	0.0%	-	
	合 計		726,920,977	100.6%	101%	

## 2022年度三越伊勢丹グループ労働組合 愛の募金特別会計

### 収支予算表（2022年7月1日～2023年6月30日）

#### （収入の部）

款	項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
1.	経常収入		1,510,000	110.2%	186.4%	
	1.	愛の募金収入	1,500,000	109.4%	187.5%	前年度実績を考慮し設定
		1.愛の募金収入	1,500,000	109.4%	187.5%	
	2.	他団体から受取収入	0	-	-	予算化せず
		1.他団体から受取収入	0	-	-	
	3.	受取利息	10,000	33333.3%	100.0%	
		1.受取利息	10,000	33333.3%	100.0%	
2.	繰入金収入		0	0.0%	0.0%	
	1.	一般会計繰入金収入	0	0.0%	0.0%	予算化せず
		1.一般会計繰入金収入	0	0.0%	0.0%	
3.	災害支援積立預金戻入収入		0	-	-	
	1.	災害支援積立預金戻入収入	0	-	-	予算化せず
		1.災害支援積立預金戻入収入	0	-	-	
4.	臨時収入		0	-	-	
	1.	雑収入	0	-	-	
		1.雑収入	0	-	-	
5.	前年度繰越金		3,411,732	182.9%	182.9%	
	1.	前年度繰越金	3,411,732	182.9%	182.9%	
		1.前年度繰越金	3,411,732	182.9%	182.9%	
	合 計		4,921,732	78.9%	86.7%	

#### （支出の部）

款	項	目	22年度予算	前年実績比	前年予算比	22年度予算 解説
1.	事業費		3,250,000	115.1%	97.0%	
	1.	事業費	3,200,000	113.9%	97.0%	前年度実績を考慮し設定
		1.支援団体寄贈	200,000	100.0%	66.7%	
		2.その他事業費	3,000,000	115.0%	100.0%	UAゼンセン（40万円）、自然災害時等発生時の赤十字社、従業員等への義援金として設定
	2.	雑費	50,000	324.7%	100.0%	
		1.雑費	50,000	324.7%	100.0%	前年度実績を考慮し設定
2.	繰入金		0	-	-	
	1.	一般会計繰入金	0	-	-	
		1.一般会計繰入金	0	-	-	
	2.	災害支援積立金繰入金	0	-	-	
		1.災害支援積立金繰入金	0	-	-	
2.	予備費		1,671,732	-	71.9%	
	1.	予備費	1,671,732	-	71.9%	
		1.予備費	1,671,732	-	71.9%	
3.	剰余金（次年度繰越金）		0	0.0%	-	
	1.	剰余金（次年度繰越金）	0	0.0%	-	
		1.剰余金（次年度繰越金）	0	0.0%	-	
	合 計		4,921,732	78.9%	86.7%	